



学塾通信 11 月号(第 167 回)

11 月 3 日(火・祝)・23 日(月・祝)は授業実施日です。
11 月 30 日(月)は授業調整日です。通常授業はありません。

9 月の塾長講座では高校受験生に「あと半年後には私立高校入試であり、12 月から始まる入試直前特訓では過去の入試問題を解きます」という話をしました。もうそんな時期になりました。

そのこともきっかけになったのか、教室には日を追うごとに自習生が増えています。その一方、このままで大丈夫なのかと不安になっている塾生もでてきました。本格的に受験勉強を始めたからこそ、入試問題を解くまでのハードルの高さを感じ始めたのでしょう。

大切なことは、「この不安とどう向き合うか」です。

昨年の学塾通信(学塾通信 2025 年 12 月 156 号)でこのような内容を書きました。

13 期生のみなさんも受験校が決まり、実際に出题された入試問題を解くなかで「いよいよ入試が近づいている」という思いと「このままで大丈夫かな」という不安があるでしょう。

みなさんにお伝えしたいことは、多くの人が同じように不安であるということです。不安の理由を掘り下げると「このままで合格できるかどうかわからない」ということではないでしょうか。絶対に大丈夫という確信が無いから不安になるのです。日吉小学校から堀江中学に進学する際には「堀江中学に進学できるかどうかわからない」という不安はなかったはずです。

絶対に大丈夫と確信できることはありません。これからの人生においても確定した未来はありません。

2019 年にコロナが流行するなど、誰もわかっていませんでした。人間関係においても仕事においてもそうです。だからこそ、どのようなことであれ「人事を尽くして天命を待つ」という考え方が良いと思っています。自分の希望する結果を得るために最大限努力をする。そして、出た結果を受け入れ進んだ道を正解にしていくことです。

ですから、**不安の解消をしようとするのではなく受験生はみんな不安であることを前提に、今できる準備を十分にしましょう。**

不安な気持ちと向き合うことは簡単ではありません。

「大丈夫、大丈夫」と自分に言いかけながら、日々の学習を進めていきましょう。考えても仕方ないこと、結論が出ないこと、わからないことは考えないことです。

その代わりに今日解くべき問題を 1 問でも多く解く、わからない問題は必ず質問する。そうした小さな積み重ねが不安を小さくしていきます。



○授業料の改定について（2027 年 3 月分より）

大変心苦しいのですが、毎年の賃金の引上げや物価高の影響により、新年度から授業料を改定させていただくことにしました。ここ数年、授業料の改定を検討しながらも据え置きで進めてきましたが、いよいよ難しくなってきました。年内には次年度以降についてご案内いたします。

また、次年度以降の生徒募集についても、定員を中学生 1 学年 20 名から 15 名に減らしていく方針です。これは講師採用において、講師の応募があっても採用できる割合が年々低くなってきていることが理由です。私立大学では内部進学や推薦での入学者が増えています。一般入試を受けることなく大学に進学しているため、講師の応募をいただいても採用が難しい状況です。

少子化にともない、このような流れが変わらないと判断し、定員自体の削減をする方針にしました。

○請求書の発行について

先月初めてアプリにて請求書を発行しました。

今月（11 月分）も紙とアプリ両方で発行し、その後アプリからアンケートを送ります。アプリでの請求書をご確認いただける方が多いようであれば、紙での発行を止めアプリ一本で行います。

○入試情報等について

各学校から届いた案内や入試に関する情報は、学塾の X にて配信しています。

○教室への連絡について

遅刻・欠席に関する連絡はアプリから「**塾長送信可**」宛に送ってください。「送信不可宛」に送信すると確認が遅くなります。

メールでご連絡をいただいている方は、アプリからの連絡に変更をお願いします。

☆小学生☆

○国語の読解問題について

国語の読解問題を面倒くさがって、本文を読まずに答えを書こうとする人が多いように思います。

読解問題の宿題にも関わらず、10 分もかからずに終わったと言っている場合は、本文を読まずに解いている可能性が高いです。

その場合は本文を読んでいないだけでなく、問題文も読んでいない可能性があります。

是非、音読をさせてください。

お子様は、どうしても宿題を早く終わらせたいという気持ちから流し読みをする傾向があります。

丁寧に本文を読みながら、答えの根拠はどこなのかを探す練習をすることが、読解問題を宿題に課す意図です。

保護者様からお声掛けをいただけると幸いです。

○英単語について

10月になりました。6年生のみなさんはそろそろ中学生への準備をしていきましょう。

ポイントはふたつあります。

ひとつは、小学生の間に学んだ知識（算数・国語・英語など）の基本問題を再度復習しておくこと。

英語は教科書「Here we go」の後半のページの英単語を英語から日本語、日本語から英語にできるようにしておきましょう。

もうひとつは、自主学習の習慣を身につけることです。中学生になり、急に長時間の勉強ができるようになるわけではありません。まずは30分から、塾の授業以外で自主学習にすることを始めてください。

中学生のテスト前学習会は75分×4コマの時間で行われます。

☆中学受験生☆

「合格の先を見据えて勉強をする。」ということを伝えておきます。

私立中学は、どこの学校であっても公立中学より授業数が多く進度も速いです。受験勉強を通してしっかりした学習習慣をつくっておかないと、入学してから困ることになります。

合格、入学という目的を達成した後も、次の目標を設定して、再始動するぐらいのイメージを持っておきましょう。特に重要なのは受験勉強をしていない科目です。英語などの科目でも基本的な知識をもって新生活を迎えて欲しいです。受験の全日程を終え、進学先が決まった後は、時間があるうちに入学後に向けて準備をしていきましょう。

中学受験統一日まで3ヵ月を切りました。多くの学校で11月にプレテストを実施します。プレテストでは得られることがたくさんあります。受験する可能性がある学校のプレテストは必ず受けるようにしてください。

○模試について（小学6年生・5年生）

第6回 五ツ木模試 10月25日（日）

☆中学生☆

○中学1年生（16期生）

「勉強があまり好きではない。できるならしたくない。」という塾生が多い学年です。

そのため、1学期の中間テストを基準として一番成績が下がる2学期をどう乗り切るのが4月からの課題でした。保護者様への協力をお願いしながら、日々の自習への声かけやシルバーウィーク学習会など、さまざまな手を打ってきました。

保護者からのお声掛けもあり、少しずつ取り組みが変わってきた（自主学習に来ることができるようになった）塾生も出てきました。「勉強をせずにできることが増えることは100%ありません。」ですから、必要な塾生には引き続き声かけをしつつ、一歩踏み出すことができた塾生に、ひとつでもできることを増やしてもらうことを心掛けていきたいと思います。

ここで、自習に来始めたばかりの人がやっしまいがちな自習 NG を共有します。

- ① 隣の人に聞く。「ここってテスト範囲やった?」「この問題教えてや」「何時に帰る?」
- ② 頻繁に立ち歩く。 75 分間の間に水を飲みに行く。ルーズリーフを取りに行くなど。
- ③ 勉強をしている人に必要の無い声をかける。ちょっかいをかける。
- ④ 姿勢が悪い。寝ているように見える。寝ている。
- ⑤ 開始のチャイムが鳴ってから準備を始める。テキストを探してうろうろする。赤ペンが無いなど。
- ⑥ ガムなどの食べ物を食べている。音楽を聴いている。(テストや受験の際はガムも音楽も禁止です。)
- ⑦ スマホを机の上に出している。

このような行為は、他の人の時間や集中できる空間を奪うことになります。落ち着いて学習ができている人、成績が安定している人の取り組む様子を見て、自分自身の取り組みを見直してみましょう。その違いに気付くことができれば改善していただけます。自習に行ってみようという気持ちは花丸です。次は成果がでる自習ができるようにしていきましょう。

○中学 2 年生 (15 期生)

中学 3 年生になると、中学 2 年生より取り組むことが多くなります。

- ✓ 英数の受講が必須になります。(現在 1 教科受講の方も 2026 年 3 月からは 2 教科になります。)
- ✓ 長期休暇中の講習会が必須になります。(中学 3 年生になる前の春休みから)
- ✓ 月 1 回の塾長講座があります。
- ✓ 定期テストで 5 教科 400 点未満の人は毎週のミニテストが課されます。
- ✓ 受講科目以外のテキストを購入していただきます。(英数理社・漢字・単語)
- ✓ 9 月以降の模試が必須になります。

新中学 3 年生には、中学 3 年時の指導について、当塾の指導方針を書面で確認後、同意書を提出していただきます。(後日配布予定)

生徒と講師が想いを共にして、大切な 1 年間で過ごせる環境にしていきたいです。

○特進コースについて

例年、中学 2 年生 2 学期の成績を基に特進コースへの認定を行っています。

特進コースは、長期休暇中の特別講座(春期・夏期)を通常のコースとは別のカリキュラムで行います。

特進コースの受講基準です。

- ・ 2 学期の 5 教科合計点数が中間テスト・期末テストを合わせて 850 点以上
- ・ 2027 年 2 月 7 日(日)に実施される五ッ木模試で 5 教科の平均偏差値が 60 以上
- ・ 文理学科等の難関校を志望していること

合格率を上げる方法
入学試験の制度を知り
出題される問題、傾向を把握し
入試本番で「解くことができる問題」を確実に解く。

○中3 塾長講座について

第7回 11月28日(土) 13:30~19:00

12月以降は入試直前特訓に移行するため、塾長講座としてはこれが最終回となります。

○模擬テストについて

第6回 五ツ木模試 11月8日(日) 必須回です。

今回初めて五ツ木模試を受験する方は、申込用紙の提出とともにマイページの登録をお願いします。
その際に必ず塾の登録をお願いします。【学塾 S60600】です。
塾の登録が無ければ、団体申込みの際に申し込みができません。

一番受験者が多い回です。この回のために9月から試験を受けてきました。受験人数が増えるから偏差値が出にくいと考える人もいますが、一概にそうとはいえません。これまでの頑張りの成果を発揮してください。

○過去問の実施について

学校説明会などで昨年度の入試問題(過去問)を配布してくれる学校もあります。
解いてみたい気持ちもわかりますが、12月以降に計画的に解いていきますので、もう少しお待ちください。
(教科によっては未習の学習内容もあります。)

○保護者様からの質問

保護者の方から「ギリギリで合格した場合、進学後の授業についていけるのでしょうか?」という質問をいただきました。私は「合格した以上ついていく力はある。」と思います。ただし、ギリギリで合格した人は、入学後も受験勉強で行っていたような学習習慣を続けることができなければ、ついていけなくなります。逆に学習が習慣化できていればしっかりついていけますし、上位にも入っていくことができるでしょう。
受験合格はあくまでも新たなスタートです。その先には、もうひとつ上のレベルを求められる日々が待っています。そのことを理解した上で、目の前の受験勉強に励むことが大切です。

～合格速報～

近畿大学 農学部 指定校推薦 (上宮学園中・高)

こちらの塾生は、小学生の頃から高校3年生の9月末まで通塾してくれていました。

中学受験の際は自分の意志では無く、どちらかという大人から言われるから勉強をしていたように思います。学年が上がるにつれて自分の意志で勉強をすることができるようになりました。

もともとは国語の方が得意だったような印象でしたが、高校2年生の進路選択においては理系を選択しました。理系の数学がどうなるかが心配なところもありましたが、担当させていただいた講師の藤岡との二人三脚で立派に乗り越えてきました。

高校1年生の頃から定期テストをしっかりと頑張ることができた。それが今回の結果に繋がりました。

本当におめでとうございます。

保護者様におかれましてもお姉さんの時(上宮学園中・高→立命館大)から9年7カ月の長い間、学塾を信頼してお任せいただきありがとうございました。

これからのお子様の益々の成長を願っています。

2026年度 塾生募集状況

【高校生】募集終了

【高校受験 中3】募集終了

【高校受験 中2】募集終了(キャンセル待ち2名)

【高校受験 中1】募集終了

【中学受験 小6】募集終了

【中学受験 小5】募集終了

【非受験 小学生】募集終了

学塾【URL】 <https://gakujoyuku.com>

【FACEBOOK】 <https://www.facebook.com/gakujoyuku>

【X】 <https://x.com/gakujoyukuhorie>

【Instagram】 <https://www.instagram.com/gakujoyuku/>